

2022年度ESD研究指定校

沖縄県立 嘉手納高校

研究報告書

SDGs達成に向けた「地域に開かれた教育課程」の研究と実践

—地域との関わりで大きく育てる持続可能な地域貢献— …… 32

第10回 産業社会と人間「SDGsって何？」 指導案 …… 37

第10回 産業社会と人間「SDGsって何？」 資料① …… 39

第10回 産業社会と人間「SDGsって何？」 資料② …… 40

第11回 産業社会と人間「SDGsにどう取り組むの？」 指導案 …… 41

第12回 産業社会と人間「SDGsアクションビンゴ」発表 指導案 43

各資料はウェブページ「おきなわSDGsのとびら」から
ダウンロードできます

みんなの一步で未来を変える

SDGs



研究報告書

学校名 沖縄県立嘉手納高等学校

I 研究主題

SDGs 達成に向けた「地域に開かれた教育課程」の研究と実践
—地域との関わりで大きく育てる持続可能な地域貢献—

II 主題設定の理由

本校では、県内中部地区唯一の総合学科校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創造する意欲を持った生徒の育成を目指している。また、各教科や各分掌でキャリア教育に資する取り組みを多く行い、生徒一人ひとりの夢や目標への挑戦を通して社会人としての資質・能力を身に着けた生徒の育成を使命としている。生徒は、これらの学びの中で、自己の在り方・生き方を考えながら、社会的、職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を身につけようとしている。

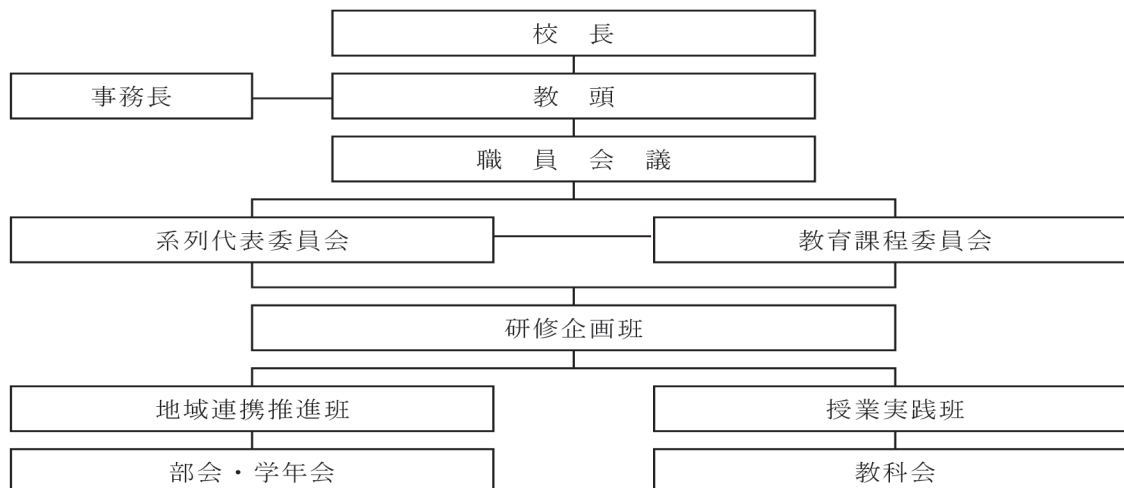
これまでに、本校のグランドデザインを下に「産業社会と人間」と「総合的な探究の時間」を有機的に結びつけることで、3年間の学びの「縦軸」を形成してきた。また、各教科の学びを貫くものとして「SDGs の理解」という視点を導入し、教科横断を模索する「横軸」も検討してきた。そして、これらの教育活動を通して、地域連携を一層強化してきた。今後は、このような仕組みを持続的に展開しつつ、生徒の学びが地域貢献につながる教育課程を編成していきたいと考え、本テーマを設定した。

III 研究の内容

1 研究方針

- (1) 本研究指定をカリキュラム・マネジメントの中に位置づけ、全職員体制で取り組む。
- (2) 「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間」を中心に「SDGs」についての理解を深化させる。
- (3) 系列科目の授業の中で、「SDGs」の観点を導入した授業を実践する。
- (4) 特別活動、課外活動等の中で、地域と連携した取り組みを実践する。

2 研究組織



3 研究計画

時期	研究内容
4月	研究組織発足
5月	嘉手納町内彩（いろどり）プロジェクト開始
6月	第1回県内先進校視察（KBC学園未来高等学校）
7月	第1回職員研修（ユネスコスクールについて） 第1回県外先進校視察（大阪府・兵庫県・京都府）
8月	第2回職員研修（ユニセフ研修会）
10月	校内公開授業（授業カフェ） 第2回県内先進校視察（浦添市立前田小学校）
11月	第2回県外先進校視察（全国総合学科研究大会 愛知大会）
12月	最終報告書資料作成
1月	最終報告会（嘉手納高校総合学科発表会 1.27 実施予定）

【研修企画班】 ◎喜屋武 三奈 清家 洋 長嶺 由人 金城 貴也 石川 睦 ①職員研修の立案・運営 ②先進校視察の立案・運営 ③予算執行
【地域連携推進班】 ◎清家 洋 新田 誠 與那城 吾朗 城間 美和 ①地域での学習活動のフィールド開拓 ②特別活動での取り組み ③課外活動での取り組み
【授業実践班】 ◎池村 愛香 大城 敦子 屋慶名 聡子 喜納 啓雄 ①校内公開授業の立案・運営 ②最終報告会の調整

4 研究実践

（1）産業社会と人間・総合的な探究の時間での実践

本校では、SDGs そのものについて理解する学習を、1年次の「産業社会と人間」、2.3年次の「総合的な探究の時間」にて行っている。特に1年次では、17

の目標がどのようなものか、日常生活とどのようにかかわっているのかを踏まえた上で、自分自身が行動できる項目を「SDGs アクションビンゴ」として発表し実践している。また、2.3年次においては、地域の課題探究を行う上で、SDGsとの関連を考えさせたり、個人の卒業研究を行う上で、設定テーマとSDGsの関係を考えさせたりしている。

(2) 総合学科発表会での成果報告

令和5年1月27日にかでな文化センターで、第10回総合学科発表会を行う予定である。総合学科での授業の成果発表や、SDGsの観点を導入した各系列の授業の展示や発表を行う。特に各系列の授業については、それぞれの教科の特色に応じて、SDGs達成に向けた活動や、SDGsについての理解を深める学習を行ってきた。例えば、工業科では、「目標1 2つくる責任つかう責任」を意識した廃材でのテーブルづくり等を行ったり、保健体育科では「目標1 4海の豊かさを守ろう」を達成するため、マリンレジャーを体験しながら沖縄の環境問題を考えたりしてきた。

(3) 嘉手納町内彩（いろどり）プロジェクト

嘉手納町より「美化ボランティア」の助成を受け、地域の屋良城址公園を清掃したり、農業の授業で制作した花卉を公園の花壇に植えたりすることを計画した。プロジェクトの目的は、人気の少ない公園で美化活動をすることで、地域の人と顔見知りになりながら、地域の安全安心を生み出すことであった。しかし、①花への水やりが定期的にはできない。②清掃活動の時間を捻出できない。などの理由から今年度はうまくできないこともあった。次年度については、花壇に植えるだけでなく、育てた花をプランターに植えてから公園へ短期間設置することを検討している。そして、地域清掃をしながら、①運搬するクラス、②水やりに行くクラス、③学校へ撤去するクラスを年間を通して割り振ることで、農業の授業だけでなく、全生徒で取り組める活動にしていきたいと考えている。

(4) 夏期講座での実践

8月22日～24日にかけて「SDGs 夏期特別講座」を希望者に実施した。1日目は、沖縄国際大学3年次の國場音志氏から「SDGs とは何か？」ということについて講話をして頂いた後に、読谷村の渡具知ビーチにゴミ拾いに出かけた。生徒からは「国際的な問題は1人の力では解決できないから協力しないといけないと感じた。」「ビーチには思っていた以上にプラスチックゴミやバーベキューのゴミが捨てられていて驚いた。」との振り返りがあった。2日目は、JICA 沖縄を訪問し、JICAの活動報告やフォトランゲージを通して、国際理解や海外での課題についての理解を深めた。生徒からは「異文化理解が深まった。」「海

外には思っている以上に課題があることが分かった。」との振り返りがあった。3日目は、沖縄科学技術大学院大学を訪問し、線先端のSDGs研究に触れながら、SDGs達成に向けて地域ではどのようなことを行っているかについて理解を深めた。生徒からは「波力発電について初めて知った。」「今後、自分自身に何ができるかをもっと考えていきたい。」との振り返りがあった。

(5) SDGs 講話隊 (小学校出前授業)

「正しく付き合おうネット・スマホの世界」をテーマに、県内の小学生を対象に、本校生徒による出前授業を実施した。参加生徒は15名で、将来、小学校や幼稚園の教諭、保育士等を目指す3年次である。夏期講座での事前学習を踏まえ、9月8日を皮切りに県内10校の小学校で実施した。「ふわふわ言葉「チクチク言葉」など、小学生になじみのある言葉を使いながら、現実の世界とインターネットの世界における言動について説明をしたり、インターネット(ゲーム)依存症が人体や生活に及ぼす影響について説明したりした。出前授業を始めた当初は、うまく説明ができなかつたり、予想外の児童の反応に戸惑う場面も見られたりしたが、回を重ねる毎に自分たちで振り返りを行い改善することができた。「目標4質の高い教育をみんなに」を意識して、児童たちにメッセージを届けると共に、高校生たちも自身のキャリア形成の深化を行うことができた。

【出前授業実施校】

嘉手納町立嘉手納小学校	嘉手納町立屋良小学校	読谷村立渡慶次小学校
読谷村立古堅小学校	読谷村立古堅南小学校	読谷村立読谷小学校
読谷村立喜名小学校	恩納村立山田小学校	那覇市立若狭小学校
豊見城市立とよみ小学校		

【琉球新報 DIGITAL 2022年9月24日 18:00】

<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1589231.html>

(6) 嘉手納警察署・嘉手納町教育委員会との連携協定締結に向けて

9月20日に秋の全国交通安全運動の出発式を道の駅かでなで行った。その際に、本校生徒4人が「一日署長」に任命され、地域の交通安全について宣言を行った。また、3年次のエイサー、ダンス部の演技、嘉手納町内4校合同制作の交通安全メッセージ動画などで式に華を添えた。「目標11住み続けられるまちづくり」の主体者として、地域の活動へ参加をした。このことをきっかけに、嘉手納警察署、嘉手納町教育委員会と持続可能な連携のための協定を結ぶための取り組みを開始している。今後は、本校の学校設定科目である「公務員教養」の授業中で、嘉手納警察署と連携をしたり、嘉手納警察署が町内小中学校に行っている「出前授業」(交通安全・防災教室)に本校の生徒も「高校生」という立場で何ができるかを検討しながら参加したりしたいと考えている。

【嘉手納高校ホームページ】

<http://www.kadena-h.open.ed.jp/2022/09/post-169.html>

【琉球新報 DIGITAL 2022年9月21日 09:55】

<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1587712.html>

IV 研究の成果と課題

1 成果

学校での様々な学びを地域の中で実践することで、生徒の自己肯定感や主体性を大きく伸ばすことができた。また、以前より強固であった地域とのつながりを一層強化することができた。特に嘉手納町内であれば、嘉手納町役場をはじめ、嘉手納警察署、子育て支援センター、比謝川自然体験センター、道の駅嘉手納、放課後子ども教室、カデナハイスクール等とも連携ができ、生徒の活動のフィールドが広がった。

2 課題

課題としては、生徒の活動及び地域との連携を持続可能なものにしていくことである。そのためには、今年度の取り組みを基盤として、校内でのカリキュラム・マネジメントを一層推進していく必要がある。